

赤ちゃんの目を見てみよう！

生後1か月児健診を受けるお子さん
の保護者の方々へ



生まれたての赤ちゃんの目は、まだぼんやりとしか見えていません。
しかし、外からの刺激に対して赤ちゃんの目や脳はとてもよく反応し、
発達していきます。

もし、目の病気などにより、その大切な刺激がうまく届かないと、目の
発達が止まってしまい、一生視力がのびなくなってしまうのです。

そのため、早く見つけて治療することが重要です。

赤ちゃんの目をよく観察して、気になるサインがあれば早めに眼科へ！

◎生後1か月で見つけない目の病気

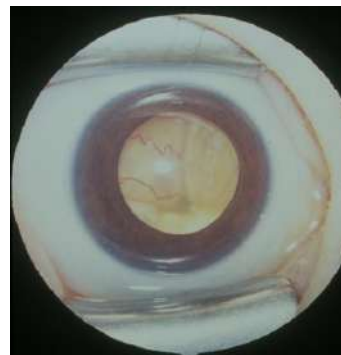
先天白内障



先天緑内障



網膜芽細胞腫



以下のサインがあれば、できるだけ早く眼科を受診しましょう！

- ☐ 瞳が白く見えたり、光って見えることがある
- ☐ 黒目が白く濁って見えることがある
- ☐ 目の大きさや形がおかしい

遺伝による目の病気がある場合も。

子どもの頃に白内障、緑内障、網膜剥離、網膜芽細胞腫などの
目の病気になったご家族やご親戚がおられる場合

できるだけ早めに眼科を受診して、精密検査を受けてください



公益社団法人
日本眼科医会
JAPAN OPHTHALMOLOGISTS ASSOCIATION

子どもの目の健康対策委員会